

Catalogue No.

20442-854

ご使用上の注意

「やきもの」は、技法上の関係で器の底面には、釉薬がかかっておらず、土のままの状態になっています。ほとんどの商品は、食卓に傷がつかないように処理しておりますが、更にサンドペーパー等で研磨の上、ご使用いただければ幸いです。

土物

- 茶渋・シミ等をつきにくくするため、ご使用前には熱湯に浸し、あらかじめ生地に水分を充分含ませてからご使用いただくことをおすすめします。
- ご使用後は、汚れをすぐに落とし、台所用洗剤で洗った後よくすすぎ、完全に乾燥してからご収納下さい。
- 陶器は吸水性があるため、ご使用後、水に浸したままにしておきますと汚れた水を吸収しカビ・シミや臭気が発生する原因になりますのでご注意ください。
- 茶渋・シミ等の汚れが気になる時には、台所用の漂白剤をご使用下さい。



貫入

- 素地と釉薬の収縮率の違いを意図的に発生させ、釉面上にひびを生じさせる焼き方です。
- 長時間にわたり、食物を入れっぱなしにしたり、汁物を入れたりしますと汚れがひびに染み込み、とれなくなることがあります。

交趾

- 業務用強化洗浄機を使用されますと破損する恐れがあります。
- 酸性食品により、変色する恐れがあります。

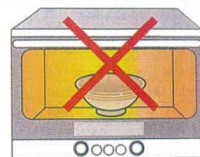
土瓶むし

- ◆この製品は直接火にかけられないものもありますが、次の点にご注意下さい。
- 必ず弱火でご使用下さい。
- 強火でご使用されますと、本体に触れている「つる」の根元が焦げる場合がありますのでご注意ください。
- 「つる」の内側の針金が熱伝導により熱くなりますので、お取り扱いの際はご注意ください。
- 空炊きはさけて下さい。
- 加熱後は、受皿又は鍋敷きの上に置いてご使用下さい。
- 熱くなった容器を、急に冷たい場所に置かないようご注意ください。
- ご使用後はよく洗い、カビ防止の為に乾燥させてからご収納下さい。



金・銀・絵付け

- 電子レンジ・オーブンには、使用しないで下さい。
- ご使用後は、台所用洗剤を柔らかいスポンジや布につけて軽く洗って下さい。
- クレンザーやナイロンたわし（研磨剤付）で強く擦ると金・銀や絵柄が剥げたり、表面にキズをつける原因になりますのでご注意ください。
- 食器洗い器を長時間にわたって使用されますと、金・銀や絵柄を傷めますのでご注意ください。
- 銀絵付製品には、漂白剤を使用しないで下さい。



電子レンジ金

- ◆電子レンジに使用できる特殊な金を使っていますが、金の表面の汚れやキズはスパークを起こす原因となりますので、ご使用の際は次の点にご注意下さい。
- ご使用後は、台所用洗剤を柔らかいスポンジや布につけて洗い、すぐに汚れを落として下さい。
- クレンザーやナイロンたわし（研磨剤付）で強く擦ると、金が剥げたり、表面にキズをつける原因になります。
- 食器洗い器を長時間にわたって使用されますと、金線や絵柄を傷めますのでご注意ください。



薬土瓶

- ◆この製品は直接火に掛けられますが、次の点にご注意下さい。
- 空炊きはさけて下さい。
- ご使用前は、土瓶の外側の水分をよく拭いて弱火からご使用下さい。
- 強火でご使用になりますと、本体に触れている「つる」の根元が焦げる場合がありますのでご注意ください。
- 「つる」の内側の針金が熱伝導により熱くなりますので、お取り扱いの際はご注意ください。
- 加熱後は、鍋敷きの上に置いてご使用下さい。
- 熱くなった容器を、急に冷たい場所に置かないようご注意ください。
- ご使用後はよく洗い、カビ防止の為に乾燥させてから、ご収納下さい。
- ご使用中、土瓶の底にヒビが入る場合がありますが破損ではありませんので、そのまま丁寧にご使用下さい。